

第3回白馬村食育推進会議 会議録（要約）

召集年月日	平成29年1月10日（火）午後4時			
召集の場所	白馬村役場 ふれあいセンター 2階 学習室			
開閉会の日時 及び宣言	開会	平成29年1月10日（火）午後4時	副会長	太田 洋一
	閉会	平成29年1月10日（火）午後4時50分	副会長	田中 栄一
出席者数	委員数18名の内 出席者14名			
出席委員	職名	氏名	職名	氏名
	委員	鎌倉 重子	委員	滝澤 達也
	委員	田中 みつる	委員	石野 真
	会長	松沢 正猛	委員	杉山 茂実
	委員	窪田 久義	委員	田中 隆弘
	委員	大久保 ちひろ	委員	太田 昭子
	副会長	田中 栄一	委員	中村 豊
	委員	平林 伸一	欠席委員 横川 辰彦 柏原 英司 大林 禮子 福島 和子	
	委員	塩島 弘之		
事務局	健康福祉課長	太田 洋一	農政課長	横山 秋一（欠席）
	健康福祉課 健康づくり係長	工藤 弘美	農政課 課長補佐	下川 啓一
	健康福祉課 管理栄養士	丸山 美和	農政課 主事	山岸 大輝
傍聴者	なし			

## 1. 開 会

〔事務局：太田課長〕 委員交代により、杉山委員の紹介並びに、開会を宣言した。

## 2. あいさつ

〔松沢会長〕 第3回協議会への出席に対しお礼を述べ、事務局で修正した素案をもとによりよい計画づくりにつながるよう、活発な意見を求めるとともに有意義な協議となるようお願いした。

## 3. 協議事項

### (1) 修正案の検討について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 資料1により、各委員から事前に出された意見をもとに修正した箇所について説明。  
また、意見を求め検討したい箇所について、それぞれ意見を求め検討していきたい旨説明。検討事項①に関し、再度意見を頂きたい旨説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

文の長さ(簡潔さ)、組み込まれた内容、まとめるのが難しいが、意見をいただきたい。

〔中村委員〕 A案に関し「様々な」といった表現が曖昧とあるが、その曖昧さがよいのでないか。  
C案に関しても「きょう食」にも曖昧さがあると思うが、多くの意味を持たせる意味では良いと思う。曖昧さを抜かすといった見方をすれば、B案がしっくりくる。「恵み」といったところで色々なつながりを感じる。疑問点、課題を基にするのならばBが一番筋が通るのではないか。

〔議長：松沢会長〕 最終的には多数決での判断をせざるを得ないが、他にも意見を頂きたい。

〔塩島委員〕 B案に賛成。「健やかな心とからだを育む」というのは全ての案に共通しているが、広い意味をもつ「恵」という言葉を使った方が、イメージが限定されることなく、幅広い思想に繋がるのではないか。説明は下の文でつけられるので、そこに結び付けて考えられるのではないか。

〔議長：松沢会長〕 意見はどれも素晴らしい。多数決での決定をする旨説明し了承を得た。

A案 2名	B案 8名	C案 3名
-------	-------	-------

〔議長：松沢会長〕 B案を基にすることで了承を得、次の協議へ進んだ。

〔事務局：丸山〕 検討事項②に関して、意見、再修正箇所について説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

ぱっと見たところ再修正案の方は見やすくなっていると思う。

〔鎌倉委員〕 野菜を食べようまでは何をするかイメージがつくが、さいごの「食をつくろう」だけはイメージが付きにくい。なにを作るのを想定しているのか。

〔事務局：丸山〕 事務局としても悩んだところ。文化を作っていく意味、人とのつながりを作っていく意味、野菜等ものをつくるという意味、「つくろう」という言葉に沢山の意味を持たせたのがゆえにわかりにくくなってしまっているかもしれない。

〔議長：松沢会長〕 何か案があれば次回の会議で決定することなので、様々な意見いただきたい。

〔事務局：太田課長〕 テーマを決めるに当たり、曖昧でなく子供でも分かりやすくしようというところが一点。基本目標の3つから主として実行していかなければいけないものを上げさせていただいたところ、「朝ごはん」「野菜」「みんなで」が上がった。また、地産地消の意味も含めた「知ろう」。最後の「つくろう」の意味合いの中に、第一として子供たちを含めた家庭で一緒に作るということが勉強になるのではと考えた。5番目のテーマは悩んだところだが、実際に作るということが一番の食育の勉強という意味を込めている。

〔石野委員〕 「食を作ろう」に関して、どの目標値に繋がるのかがイメージしにくい。目標を達成するためのテーマだと思うので、具体例を挙げていただくと分かり易い。

〔事務局：太田課長〕 実際に直接的は数値があるわけではないが、総合的に食育を考えていったときに、「つくる」といった事業を行うことにより、直接的ではないものの、食育というものを育む要因になると考えた。実際に直接的な数値を上げられた方がいいが、それぞれに関するものとして掲げさせていただいている。

〔議長：松沢会長〕 4年達したまとめとして、数値はなしということをお願いしたい。

〔杉山委員〕 知ろう→作ろう→食べようの流れが自然ではないか。

〔塩島委員〕 「子どもたちにもわかりやすいテーマ」ということだが、「つくる」というのは食材（農業）と料理をイメージしたが、それなら子供にもわかりやすく、地産にもつながっていくのではないか。

〔中村委員〕 以前、目標やテーマをつくと縛りがでてくるので、必要ないのではという意見があったが、ある程度年ごとにテーマを決めてもいいのではということになったと思う。部署により分野、対象が違ってくるので、各所が事業をするうえで、テーマが枷になるようならば困るので、これくらいの目安程度の表現でよいのではないか。あまり意味を深く求めすぎると、逆にわかりにくくなる可能性があるので、このままでよいと感じる。

〔議長：松沢会長〕 現場でとらえ方が違うのは当たり前なので、曖昧さを残したままそれぞれの事業の解釈で行動していただくというご意見。他に意見を求めた。

〔太田委員〕 保育園としても、このテーマは今やっていることがそのままあげられていて、保育園だけでなく、フォローをしてくれる違う団体がいてくれると嬉しい。先生だけでなく地域の先輩たちと食育をしていく事でまた違う環境で食育が出来ていくのではないかな。

〔議長：松沢会長〕 今までの意見を基に、言葉にあまり囚われることなく事務局でまとめて頂きたい。次に進んだ。

〔事務局：丸山〕 検討事項③について、賛成意見多数で決定した旨説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

〔事務局：山岸〕 検討事項④について、意見、修正個所の説明。地場産についての会員に関するグラフについて、不要かという意見あったが、記載したい旨説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

#### (2) 今後の予定について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 資料2に関して、今後の予定（主に前会議からの変更点）について説明

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対し、意見を求めたが特になかった。本日の協議をもとに、パブリックコメントの実施をお願いする。

#### 4. 閉 会

〔田中副会長〕 会議出席にお礼を述べると共に、今度の進行に協力いただけるようお願いし、閉会を宣言した。

終了 16:50

以 上